

推進会議で見直し進む

稲敷市 既存解体は大洋が施工

稲敷市は、新庁舎建設の基本・実設計を(株)井建築設計事務所東京事務所(東京都千代田区)で進めており、庁舎建設推進会議の意見を取り入れながら、年度内の策定完了を予定。今月4日には既存施設解体工事の入札を執行し、(株)大洋(水戸市)が7700万円で落札、議会の議決をうけ

を中断。市は事業を再開するため、本年6月の補正予算で関連事業費を計上。(株)井建築設計事務所東京事務所と基本・実設計の変更契約を締結し、設計を再開した。

リニューアル棟に持たせる予定だった機能を、新庁舎に追加していく。これに伴い市は、市執行部と市議会で構成する「庁舎建設推進会議」を設置。庁舎機能、整備手法などを具現化するため見直しを行い、必要と

着工。年度内に解体する。本体工事は来年度から2カ年で行い、16年度内の供用開始を目指す。庁舎建設事業は、4町村合併に伴い計画。江戸崎西高跡地を利用し、新庁舎を建設する。今月4日には既存施設解体工事の入札を執行し、(株)大洋(水戸市)が7700万円で落札、議会の議決をうけ

な。東日本大震災で特別教室棟が被災したため、同棟を活用したりニューアル棟の整備は取りやめ、新庁舎のみを整

される機能を検討。新庁舎の必要面積算定やレイアウト、フロア構成など具体的な内容を詰める。順調に進めば、年度内に設計と解体工事を完了。来年度から工事に着手し、16年度内の供用開始を目指す。